

新入生のみなさんへ

社会科地図帳を使いやすくしてみよう！

5月の学校再開までの時間を使って、新入生のみなさんは、社会科の地理で使う『地図』（地図帳）の使い方を学んで、授業が始まった時に使いこなせるようになっておくことを期待しています。

17日に配布した教科書のうち「地図」と書いてあるのが地図帳になります。

小学校と中学校の地図（地図帳）の違いは

詳しく細かい地名がたくさん記載されています。
当然のことながら、文字の大きさも小さいです。
ページ数が多く、どこに何があるのかがわからない。



地図を使いやすくするための裏ワザ

「地名の位置を地図帳でさがしなさい」という先生の指示が出ると、大変だという人は多いかと思います。一体どこのページを開けばいいのか、関東地方の地図は何ページからはじまるのか。だから「地理は面倒くさい」という生徒を先生はたくさん見てきました。

★とってもいい方法で場所を探せるように工夫した地図帳にしている生徒に出会いました。

世界は州（大陸）別、日本は地方別に

インデックスシールを貼る。

インデックスシールを2色（赤・青）用意して、例 赤は世界、青は日本で色分けします。

世界（赤）の場合

下部のような方法で地図の右側に順番に貼っていきましょう。

東アジア

東南アジア

南アジア

西アジア

アフリカ

ヨーロッパ

北アメリカ

南アメリカ

オセアニア

日本（青）の場合

九州

中四国

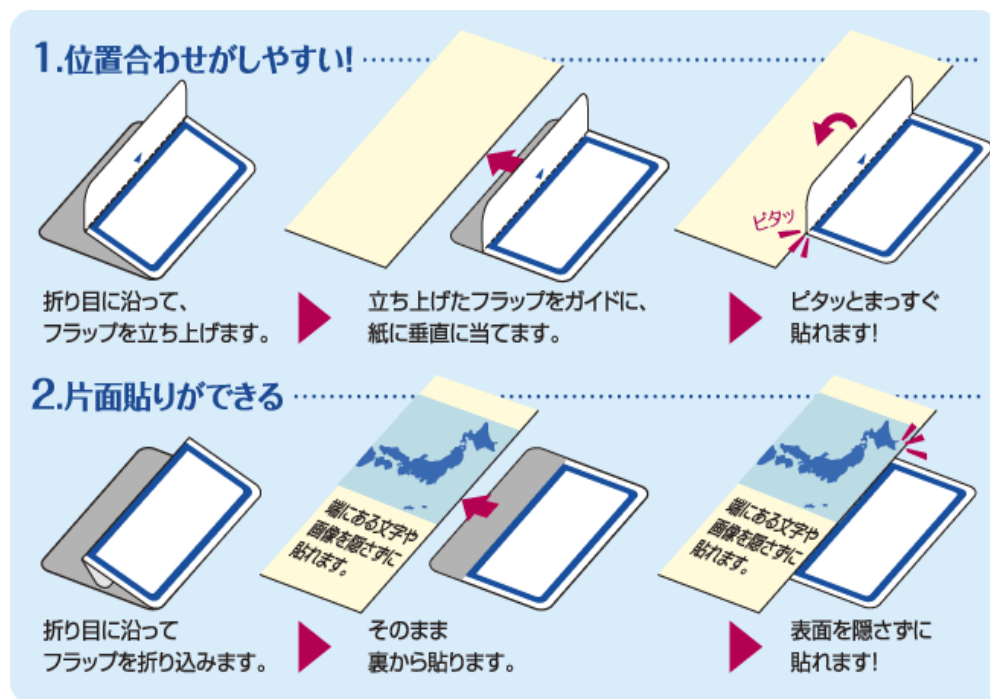
近畿

中部

関東

東北

北海道

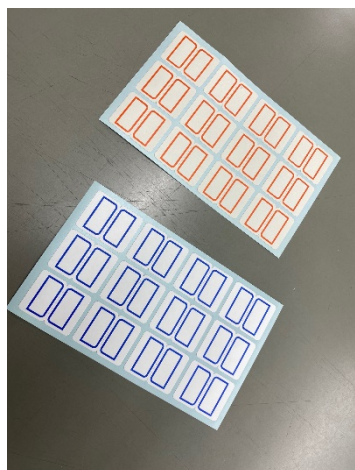


★インデックスの項目は、各自で工夫して必要なものがあれば付け足してください。

では、実際にやってみましょう

まずこちらが地図になります。

これは先生が去年使っていたものなので少々ボロボロになっています。でもこれくらい使い込むと勉強しているなあという気分になれるかもしれません。



← 文房具屋さんコンビニ等で

売っている**インデックスシール**。

(世界と日本にわけるので**2色**用意しましょう)

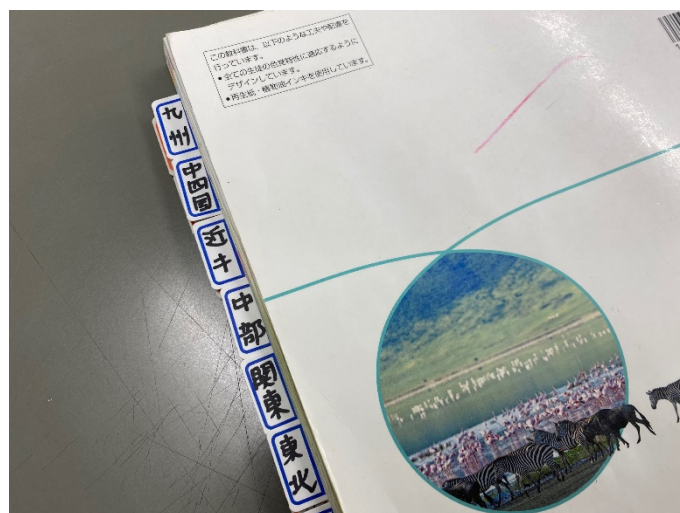
★インデックスラベルに先程紹介した世界の地域名(東アジア、ヨーロッパなど)を記入します。

ネームペン(油性)の細字または中細字くらいがよいと思います。

★インデックスシールを貼っていきます。写真のような感じでよいです。



世界の各地域のインデックス



日本の各地域のインデックス

どうでしょうか。そんなに難しい作業ではないかと思います。学校が始まって最初の地理の授業では、ぜひインデックスシール付きの地図を持ってくるようにして下さい。